



志高く!

校訓 学び 磨き
思いやる
合い言葉
「麻生中ABCD+」

◆麻生中学校だより◆
Tel 80-8070
Fax 77-0840
http://www.sopia.or.jp/n-asojh/
行方市南327の3
令和元年9月30日発行
令和元年度 第13号

◆第4回「学びに向かう力」を育む校内研修・計画訪問指導◆



9月24日(火)、4回目となる、「学びに向かう力」を育む校内研修を行いました。今回は、茨城大学大学院教授である打越正貴先生の他に、同大学助教である宮本浩紀先生、今泉友里先生、そして学生2名も同行され、これまでも増して充実した研修となりました。

今回の授業者は、田所先生と板倉先生で、田所先生は、1年2組で、数学「一次方程式」の授業を、板倉先生は、2年2組で、理科「化学変化と原子・分子」の授業を公開しました。田所先生は、先生自身の体重を等式の性質を利用して説明するという内容の学習活動を行いました。(※上左写真)板倉先生は、二酸化炭素中で激しく燃焼するマグネシウムを見せることで、子供たちの既成概念を崩し、その理由を追究するという学習活動を行いました。(※上中写真)本校の研究対象である「ゆさぶり」を大いに意識した授業展開でありました。放課後は、二人の授業に対する研究協議を行いました。(※上右写真)多くの成果を確認できましたが、課題として、「根拠を大切にすること」や「教師が子どもの考えをつなげていくこと」などが明確化され、今後の授業に生かしていくこととなりました。

9月26日(木)には、「計画訪問指導」が行われました。計画訪問指導とは、学校の教育水準の向上を目的に、年1回、行方市教育委員会の先生方が来校し、授業参観、施設設備等の視察、研究協議、講師指導等を行うものです。全教員が授業を公開し、その内容の成果と課題を指導いただきました。(※右写真)



本校では、9月を、「授業改善強化月間」とし、「主体的・対話的で深い学び」の創造を目指して取り組んでいます。今後も生徒にとって「分かる授業」を目指し、頑張っ

◆吹奏楽部定期演奏会◆

9月15日(日)、7回目となる吹奏楽部の定期演奏会を行いました。3年生は、これまで頑張ってきた熱い思いを自分が演奏する楽器の奏でる音に乗せてしっかりと表現し、1・2年生は、様々な面でお世話になってきた3年生を最高の状態でバックアップしていました。全10曲の演奏、芸術の秋に相応しい素敵なひとときを共有することができました。



◆後期生徒会役員選挙◆

9月27日(金)、後期生徒会役員立ち会い演説会並びに選挙を行いました。今回は、1年生4名、2年生7名が立候補しました。どの立候補者も公約を正々堂々と述べ、今後の麻生中を牽引するに相応しい人たちばかりでした。「踏襲は後退なり」を意識し、先輩たちが残してくれたこれまでの生徒会への取組をベースに更なる改善を図り、麻生中の躍進に寄与して欲しいと思います。



編集後記

彼岸の中日前後に決まって花を咲かせる彼岸花。毎年、その正確さに驚きと感心の気持ちを抱いていました。しかし、今年は、開花が遅れており、毎年、咲く場所で今朝(9/27)、初めて花を見ることができました。開花率は、20%程度でしょうか。その理由を調べてみると、今年の夏は猛暑日が続いたため、全国的に開花が遅れているとのことでした。年々、平均気温は上昇しているわけなので、このままいくと、「彼岸花」という名が似合わない花になってしまうかもしれません。淋しい限りですね。(文責：栗原秀雄)



